

# 第 20 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム

## SSC Symposium 2026

日 程	2026 年 2 月 14 日 (土) 9:15 ~ 15:55 ※ 8:45 より受付を開始いたします.
会 場	野村コンファレンスプラザ日本橋 (東京都中央区日本橋室町 2-4-3 日本橋室町野村ビル (YUITO) 6F 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 A9 出口直結 徒歩 1 分) <a href="http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/">http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/</a> ※参加には事前参加登録が必要です. 参加登録期間: 2025 年 12 月 17 日 (水) 正午 ~ 2026 年 3 月 16 日 (月) 詳細は学会ホームページ <a href="https://www.jsth.org/ssc-symposium/">https://www.jsth.org/ssc-symposium/</a> をご確認ください. ※教育講演はオンデマンド配信のみ 2026 年 2 月 16 日 (月) ~ 3 月 16 日 (月) ※その他のプログラムはオンサイト開催のみ
世話人	奥 健志 (東海大学医学部 内科学系リウマチ内科学)
参加費	会 員: 3,000 円 非会員: 6,600 円 非会員 (コメディカル): 4,400 円 大学院学生・初期研修医: 1,000 円 大学生: 無料 ※学生証 / 初期研修医の証明書を提出 ※参加費は抄録代を含む

## プログラム

### 教育講演 (オンデマンド配信のみ)

1. 領域: 止血機能検査  
血栓の形成と溶解に関わる臨床検査の指標—血液凝固と線溶反応を捉える分子マーカーを活用するために  
演者: 窓岩 清治 (東京都済生会中央病院 臨床検査医学科)
2. 領域: 血小板  
生体における血小板機能の評価  
演者: 西川 真子 (東京大学医学部附属病院 検査部)
3. 領域: 凝固・線溶系出血疾患  
血友病の遺伝子治療  
演者: 大森 司 (自治医科大学医学部 生化学講座 病態生化学部門)

4. 領域：凝固・線溶系血栓性疾患  
がん患者における周術期 VTE 予防と VTE 治療  
演者：池田 正孝（兵庫医科大学 消化器外科学講座 下部消化管外科）
5. 領域：DIC/TMA  
進化する TTP と aHUS の診療  
演者：宮川 義隆（埼玉医科大学病院 血液内科）

## 学術標準化委員会シンポジウム

### 1. 凝固線溶検査部会（10:10～11:10）

テーマ：APTT の試薬間差への対応を考える！

座 長：伊藤 隆史（熊本大学大学院生命科学研究部 血液免疫病態解析学講座）  
熊野 稔（産業技術総合研究所 健康医工学研究部門）

#### 1. 多様なサンプルを用いた APTT サーベイ

松田 将門<sup>1)</sup>，伊藤 隆史<sup>2)</sup>，橋口 照人<sup>3)</sup>，凝固線溶検査部会 APTT-working group（<sup>1)</sup> 福島県立医科大学保健科学部 臨床検査学科，<sup>2)</sup> 熊本大学大学院生命科学研究部 血液免疫病態解析学講座，<sup>3)</sup> 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野）

#### 2. 凝固検査（APTT, PT）による DOAC 過量投与の判定に関する多機関共同研究

—DOAC 添加血漿を用いた検討

山崎 昌子<sup>1)</sup>，熊野 稔<sup>2)</sup>，凝固線溶検査部会 DOAC-working group（<sup>1)</sup> 千葉大学大学院医学研究院 人工知能（AI）医学，<sup>2)</sup> 産業技術総合研究所 健康医工学研究部門）

#### 3. 抗 Xa 活性からみた各 DOAC の PT/APTT への影響；DOAC 添加血漿を用いた検討

早川 峰司<sup>1)</sup>，熊野 稔<sup>2)</sup>，藤井 聡<sup>3)</sup>，山崎 昌子<sup>4)</sup>（<sup>1)</sup> 市立札幌病院 総合臨床センター，<sup>2)</sup> 産業技術総合研究所 健康医工学研究部門，<sup>3)</sup> 北海道大学病院 検査・輸血部，<sup>4)</sup> 千葉大学大学院医学研究院 人工知能（AI）医学）

### 2. 血栓溶解部会・DIC 部会（10:10～11:10）

テーマ：DIC における線溶反応の再考察

座 長：田村 利尚（産業医科大学第 1 外科学）  
内場 光浩（熊本大学病院 輸血・細胞治療部）

#### 1. 共同開催の目的と背景—DIC における線溶反応—

内場 光浩（熊本大学病院 輸血・細胞治療部）

#### 2. トロンボモジュリンアルファの投与と病態時の線溶機能の理解

鈴木 優子（浜松医科大学 医生理学講座）

#### 3. 慢性 DIC の病態解明と適切な治療法開発：XIII 因子と DOAC に着目して

中山 享之（愛知医科大学 輸血・中央臨床検査部）

#### 4. 総合討論（今後の方針など）

### 3. 血友病部会（10:10～12:20）

テーマ：新しい血友病ガイドラインと血友病治療の新時代

座 長：松本 剛史（埼玉医科大学総合医療センター 輸血部）  
酒井 道生（北九州安部山公園病院 内科）

1. 先天性血友病診療ガイドライン改訂について  
徳川 多津子（兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学）
2. 後天性血友病 A ガイドライン改訂の進捗状況  
武山 雅博（大阪医療センター 血友病科）
3. エビデンスに基づいた血友病の関節リハビリテーションについて考える  
—EAHAD の血友病患者の理学療法に関する診療ガイドライン—  
大野久美子（東京大学医学部附属病院 整形外科）
4. 新時代の出血予防治療について考える  
—リバランス療法の実臨床と今後の展開—  
松下 正（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）
5. 総合討論

#### 4. 血栓溶解部会（11:20～12:20）

テーマ：線溶検査と血栓溶解療法の現状と課題

座 長：窓岩 清治（東京都済生会中央病院 臨床検査医学科）

内場 光浩（熊本大学病院 輸血・細胞治療部）

1. 標準化を見据えた線溶時間検査の現状と課題  
藤森 祐多<sup>1)</sup>，涌井 昌俊<sup>1)</sup>，窓岩 清治<sup>1,2)</sup>（<sup>1)</sup> 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室，<sup>2)</sup> 東京都済生会中央病院 臨床検査医学科）
2. 凝固線溶波形解析～スクリーニング検査への応用を目指して～  
松本 智子（天理大学医療学部 臨床検査学科）
3. 脳梗塞血栓溶解療法最新の話  
井上 学<sup>1)</sup>，長尾 毅彦<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup> 国立循環器病研究センター 脳血管内科，<sup>2)</sup> 日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経内科）

#### 5. 血小板部会（11:20～12:20）

テーマ：先天性血小板機能異常症の診療向上にむけた取り組み

座 長：加藤 恒（大阪大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）

羽藤 高明（愛媛県赤十字血液センター）

1. 先天性血小板機能異常症診断基準について  
柏木 浩和（大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科，大阪府赤十字血液センター）
2. 血小板機能と出血症状評価の課題  
金子 誠（三井記念病院 臨床検査部）
3. 血小板機能異常症の止血管理  
加藤 恒（大阪大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）

#### 6. 血栓性素因部会（13:30～15:00）

テーマ：遺伝性血栓性素因患者の適正な診断ならびに診療を目指して

座 長：森下英理子（金沢大学医薬保健研究域 病態検査学）

荻原 義人（三重大大学 三重県移行期医療学講座）

1. 「遺伝性血栓性素因患者の妊娠分娩管理に関する診療の手引き Q&A」2025 年改訂版について
  - a. 総論  
森下英理子（金沢大学医薬保健研究域 病態検査学）

- b. 遺伝子 AT 欠乏症妊婦の管理  
森川 守（関西医科大学 産婦人科）
- c. 遺伝性 PC 欠乏症妊婦の管理  
川崎 薫（近畿大学 産婦人科）
- d. 遺伝性プロテイン S 欠乏症妊婦の管理  
根木 玲子（国立循環器病研究センター ゲノム医療支援部遺伝相談室）
- 2. プロテイン C 活性の標準化および健常成人の基準値設定  
内藤 澄悦（北海道医療大学病院 臨床検査部）
- 3. 小児における凝固制御因子活性の基準値設定—中間報告  
萩原 建一，野上 恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）
- 4. 血栓性素因部会が今後取り組むべき課題  
家子 正裕<sup>1)</sup>，森下英理子<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup> 札幌保健医療大学 保健医療学部 看護学科，<sup>2)</sup> 金沢大学医薬保健研究域 病態検査学）

## 7. VWD/TMA 部会（13:30～15:00）

テーマ：Von Willebrand 病の現状と課題の解決を目指して

座 長：小亀 浩市（国立循環器病研究センター 分子病態部）

酒井 和哉（奈良県立医科大学 輸血部）

### Opening Remarks

酒井 和哉（奈良県立医科大学 輸血部）

### Part 1. 活動の現状報告：ワーキンググループの立ち上げを目指して

#### 1. VWD の啓発活動：進捗と今後の展開

長尾 梓（関西医科大学 血液腫瘍科）

#### 2. デスモプレッシン点鼻薬の導入を目指して：進捗と今後の展開

長尾 梓（関西医科大学 血液腫瘍科）

### Part 2. VWD 診断ガイドラインの検討課題：臨床現場からの要望

#### 1. 低 VWF 血症の取扱い（診断基準とのギャップ）

萩原 建一（奈良県立医科大学 小児科）

#### 2. VWF 関連検査

##### 1. VWD における遺伝子解析の現状と課題

稲葉 浩<sup>1)</sup>，小亀 浩市<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup> 東京医科大学 臨床検査科，<sup>2)</sup> 国立循環器病研究センター 分子病態部）

##### 2. VWF の機能解析手法について：国内保険未収載のものを中心に

酒井 和哉（奈良県立医科大学 輸血部）

### Closing Remarks

小亀 浩市（国立循環器病研究センター 分子病態部）

## 8. 抗リン脂質抗体部会（13:30～15:00）

テーマ：抗リン脂質検査の手引きと検査・診療の標準化

### 1. 凝固グループ：LA 検査標準化への挑戦：前提処理条件からハーモナイゼーション，抗凝固薬の影響まで

座長：内藤 澄悦（北海道医療大学 歯科クリニック 臨床検査部）

演者：徳永 尚樹<sup>1)</sup>，内藤 澄悦<sup>2)</sup>，下村 大樹<sup>3)</sup>，結城 智嗣<sup>4)</sup>，叶内 和範<sup>4)</sup>，山崎 哲<sup>5)</sup>，久田 諒<sup>6)</sup>，藤枝雄一郎<sup>7)</sup>，家子 正裕<sup>8)</sup>（<sup>1)</sup> 社会医療法人川島会 川島病院 診療技術部 検体検査技術科，

- <sup>2)</sup> 北海道医療大学病院 臨床検査部, <sup>3)</sup> 天理よろづ相談所病院 臨床検査部, <sup>4)</sup> 山形大学医学部附属病院 検査部, <sup>5)</sup> 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査技術部, <sup>6)</sup> 北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科, <sup>7)</sup> 慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科, <sup>8)</sup> 札幌保健医療大学 保健医療学部看護学科)
2. SPA グループ：SPA 検査標準化への挑戦；ELISA と自動化アッセイのハーモナイゼーション  
座長：山崎 哲（聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査技術部）  
演者：本木由香里（山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻）
3. 臨床グループ：抗リン脂質抗体症候群：診断・リスク評価の標準化への挑戦  
座長：野島 順三（山口大学大学院医学系研究科 保健学専攻）  
演者：藤枝雄一郎<sup>1)</sup>，久田 諒<sup>2)</sup>，渥美達也<sup>2)</sup>（<sup>1)</sup> 慶應義塾大学医学部 リウマチ膠原病内科，<sup>2)</sup> 北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）
4. 総合討論  
座長：渥美 達也（北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）  
奥 健志（東海大学医学部 内科学系リウマチ内科学）

## 共催セミナー

### モーニングセミナー（9:15～10:00）

1. 慢性 ITP の治療戦略—Syk 阻害薬タバリズ錠をどう使うか—  
座長：加藤 恒（大阪大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部）  
演者：大崎 浩一（社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 輸血科）  
共催：キッセイ薬品工業株式会社
2. 後天性血友病 A 臨床における認知から止血療法まで  
座長：徳川多津子（兵庫医科大学病院 血液内科）  
演者：関 義信（新潟大学医歯学総合病院／新潟県立がんセンター新潟病院 血液内科）  
共催：武田薬品工業株式会社
3. エミシズマブの有効性と課題—エビデンスに基づく考察—  
座長：藤井 輝久（広島大学病院 輸血部／血友病診療センター）  
演者：武山 雅博（大阪医療センター 血友病科）  
共催：中外製薬株式会社

### ランチョンセミナー（12:35～13:20）

1. 血友病患者の目指すべき今後の姿とその達成のための治療選択  
座長：松本 剛史（埼玉医科大学医学部総合医療センター 輸血部（輸血細胞医療部・細胞移植療法部））  
演者：藤井 輝久（広島大学病院 輸血部／血友病診療センター）  
共催：サノフィ株式会社
2. 血友病の抗凝固・抗血小板療法—循環器医の視点による心血管疾患マネジメント—  
座長：天野 景裕（東京医科大学 臨床検査医学分野）  
演者：後藤 信哉（東海大学医学部内科学系 循環器内科）  
共催：CSL ベーリング株式会社
3. 高齢心房細動患者への DOAC 投与時に凝固マーカー測定の意味はあるか？～医療経済的考察～  
座長：福武 勝幸（医療法人財団 荻窪病院 血液凝固科）  
演者：鈴木 信也（心臓血管研究所附属病院 循環器内科）

共催：積水メディカル株式会社

4. コンシズマブによる血友病 B 治療の新展開：Explorer8 試験と実臨床 2 例から学ぶ

座長：関 義信（新潟大学医歯学総合病院／新潟県立がんセンター新潟病院 血液内科）

演者：松野 良介（関西医科大学附属病院 小児科）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

スイーツセミナー（15:10～15:55）

1. 血友病治療の新たな選択肢 ～ヒムペグジの可能性～

座長：木内 英（東京医科大学 臨床検査医学分野）

演者：澤田 暁宏（兵庫医科大学 血液内科）

共催：ファイザー株式会社

2. バイクロット<sup>®</sup> の今後の展望～後天性血友病において活躍できるのは重症出血時治療だけ？～

座長：鈴木 伸明（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）

演者：山崎 尚也（広島大学病院 輸血部）

共催：KM バイオロジクス株式会社／一般社団法人 日本血液製剤機構

3. ITP の病態とバイオマーカーから紐解く Optimal Combination Therapy

座長：山之内 純（愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

演者：大竹 志門（日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科）

共催：アルジェニクスジャパン株式会社